

吉田病院広報誌

すこやか

講演会のお知らせ

[NEWS] 熱中症にご注意！！

『肺癌講演会特集！！』

vol63 2018 SUMMER

第16回医学講演会にむけて

私たち慶友会は、地域の皆さんの「健康創造」に貢献したいとの思いから、平成10年より様々なテーマで識者をお招きして医学講演会を開催してきました。第1回を「雪の美術館」で開催したのがつい昨日のことのようですが、この取り組みも通算16回を数えて、正に「継続は力」であることを実感するこの頃です。

そして今年は、「飛躍する癌治療、その先へ」をテーマに、特定非営利活動法人日本肺癌学会理事長の光富徹哉先生と、兵庫県立がんセンター呼吸器内科部長の里内美弥子先生より、日進月歩で進化を遂げる肺がん治療の最前線の動向についてお話をいただきます。先進的でありながら分かりやすい、そんなお話をしていただけるものと楽しみにしております。

さて、私たちの暮らす北海道は、肺がんの死亡率が残念ながら「全国ワースト1位」であるというのは良く知られているところです。これだけ豊かな自然の恵みを受けながら、私たちは日々の暮らしの中で健康への意識が薄くなりがちで、結果、自身や大切な人が病に侵されて初めて、日々の健康管理の重要さを痛感させられることとなります。そんな悔悟を少しでも減らすべく、これからも地域に向けた健康情報の発信に努めて参る所存です。当日はぜひ、大切な人と一緒にご来場くださいましたら幸いです。

引き続き「発信する慶友会」にご期待ください。

医療法人社団慶友会 理事長 吉田 良子
社会福祉法人慶友会



特集



第16回慶友会グループ医学講演会
医療法人社団 慶友会 吉田病院

肺癌講演会

肺癌エキスパートに聞く 「飛躍する癌治療、その先へ」

日時 2018年 **8月18日** (土)
14:00開演(13:00開場受付)

場所 **大雪クリスタルホール**
音楽堂 旭川市神楽3条7丁目

入場無料
事前申込不要
定員 **600名**

無料
メディカルチェック
体験ブース
血圧と動脈硬化指標を同時に測定いたします。

講演者



特別講演 肺がん分子標的治療の進歩

日本肺癌学会 理事長 光富 徹哉

PROFILE

略歴 1988年 4月1日 九州大学医学部附属病院第二外科助手
1989年 9月1日 米国立癌研究所、visiting fellow
1991年 7月1日 産業医科大学第二外科助手
1995年 4月1日 九州大学医学部助教授
1995年10月1日 愛知県がんセンター 胸部外科部長
2012年 5月1日 近畿大学医学部外科学講座 呼吸器外科部門 主任教授
現在に至る

講演者



一般講演

肺癌の免疫治療 ～進行がんでも治るの?～

PROFILE

略歴 1995年4月1日 兵庫県立成人病センター 呼吸器内科医長
2002年5月1日 神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科助手
2005年3月1日 兵庫県立がんセンター 呼吸器内科医長
2009年 同部長
2017年4月1日 兵庫県立がんセンター 化学療法担当部長
兼 呼吸器内科部長
現在に至る

兵庫県立がんセンター
呼吸器内科部長
里内 美弥子

現在に至る



<特別後援>
特定非営利活動法人 日本肺癌学会

<後援>
北海道新聞旭川支社、HTB旭川支社

<お問い合わせ>
医療連携室 0166-25-9661

<医療法人社団 慶友会 吉田病院>
〒070-0054 旭川市4条西4丁目1-2 代表 0166-25-1115

皆様の **健康** に役立つ情報があります

大切な人と大切なことを話し合おう

「人生の最終段階の医療・・・」
というフレーズを、メディアでよく目にするようになりました。この言葉を知らなくても、「終活」や「エンディングノート」をご存知の方は多いでしょう。人間、人生の最終段階は、病気で具合が悪かったり、認知障害があつたりで、何かを決めるのが困難になります。そこで、元気なうちに自分の意見を表明しておく、それはとても大切なことです。しかし、そのやり方は、少々考える必要があります。一人でノートに書き留めるようなやり方は、あまりお勧めできません。その方法だと、いざノートを開いたときに、家族はあなただがどんな気持ちで、またどんな心づもりでそれを書いたかわからず、とても困惑します。ですから、人生の最終段階の大切なことは、大切な人と「話し

合つて」決めていくのがよい方法です。そうすると、家族はあなたの言った意見の微妙なニュアンスを感じ取ることができずし、どのような理由があつて選んだことなのかも理解することができません。

また、あなた自身も、話し合いをすることで、家族との信頼関係を強めることができ、より安心して、その後の人生を送ることができるよう。

この話し合いは、病気の種類や年齢に関係なく必要なことです。思い立ったが吉日、大切な人と大切なことを話しっておきませんか？

非常勤医師 阿部 泰之先生

(旭川医科大学病院

緩和ケア診療部)



熱中症にご注意！

熱

中症とは、高温多湿な所にいることで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体に熱がこもってしまう状態です。症状はめまい、立ちくらみ、手足のしびれ、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感などで、重症になると、意識消失、けいれんも起こします。



室

内では室温をこまめに確認し、扇風機やエアコン、窓の開閉で温度を調節しましょう。外出時は日傘や帽子を着用しましょう。のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう。

体の蓄熱を避けるために、通気性がよく、吸湿性・速乾性のある衣服を着用するのも効果的です。



(外来看護師 前川)

f 吉田病院公式 Facebook お知らせ

吉田病院公式 Facebook にて、毎週病院に関する情報や裏側など更新しております。皆様からの” いいね！ ”をお待ちしております。

